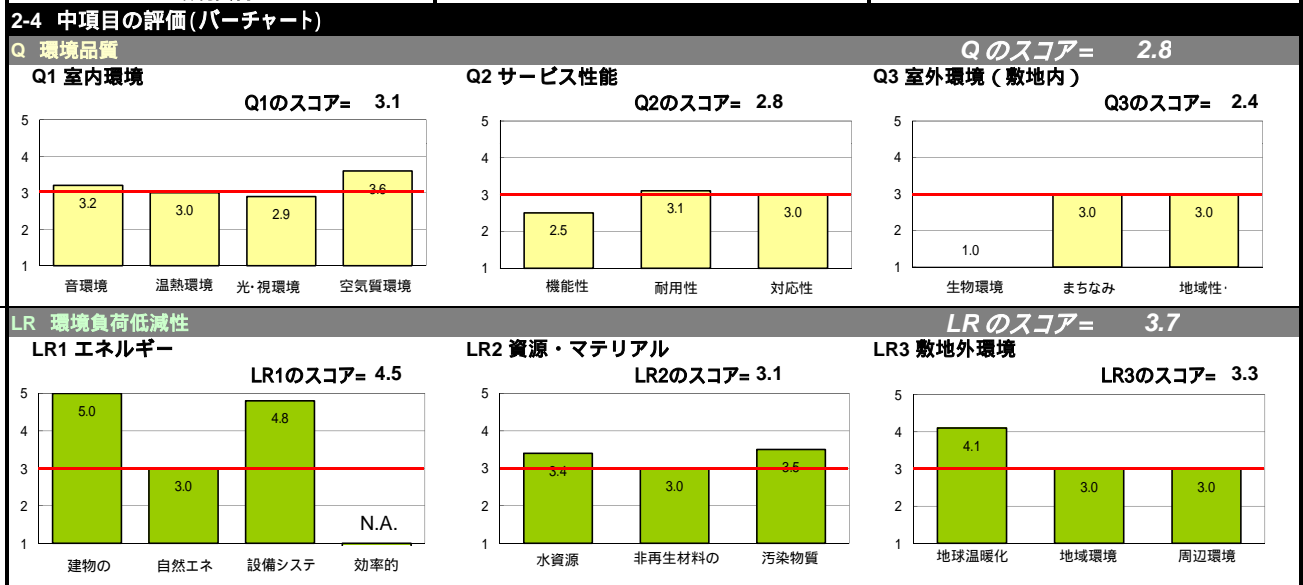
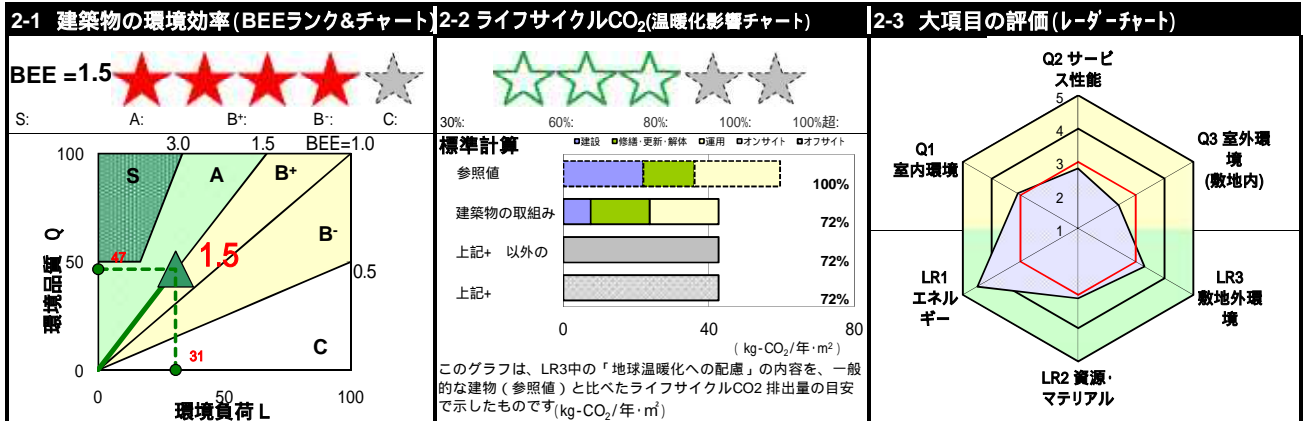


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	バレストージ本厚木	階数	地上11F
建設地	神奈川県厚木市水引2丁目172-1他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	380 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年3月 予定	評価の実施日	2011年12月12日
敷地面積	2,118 m ²	作成者	(株)日設計
建築面積	1,010 m ²	確認日	2011年12月26日
延床面積	8,485 m ²	確認者	(株)日設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
省エネルギー対策等級4とし、省エネルギーに配慮した計画としている。	潜熱回収型給湯器を採用している。
Q1 室内環境 仕上げにF を使用し、汚染物質が発生しないよう配慮している。	Q2 サービス性能 各住戸に電話、放送に対応した通信回線を引き込み、インターネットサービスが利用可能な環境を整備している。
Q3 室外環境(敷地内) 建物を道路境界、隣地境界から後退させ、適切な植栽を設けている。 道路面には塀やフェンスを設けず、開放的なアプローチ空間としている。	LR3 敷地外環境 地域気象観測データを用いて、風環境を把握している。
LR1 エネルギー 省エネルギー対策等級4としている。 照明にLED、センサー制御を採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器を採用している。 非構造材料にリサイクル資材を使用している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される